



上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

# 大 船 山

第 9 号

令和5 年 8 月 28 日

ホームページアドレス <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>



## 「さあ、2 学期だ！！」か、それとも「あーあ、2 学期かあ。」なのか

校長 細江 幸次

38 日間の夏休みが終わりました。2 学期の始業を迎えた率直な気持ちは上のタイトルのどちらに近いのでしょうか。「さあ、——。」で始まる人は家族と一緒に旅行やイベント等で楽しく過ごしたり、自分の思い通りに課題に取り組むことができたりして、充実した夏休みを過ごすことができたのでしょうか。一方、「あーあ、——。」で始まる人は十分な満足感を得ることができなかったために出る、ため息にも近い「あーあ」なのでしょう。自分で自由に時間を使うことができる38 日間であったのに、なぜ満足感を得られなかったのか、その要因をじっくり考えてみてください。自分で時間を自由に使うことができる38 日間であった分、その原因は必ず自分自身にあるはずです。「自由」に過ごすことができるということには必ず、「責任」という言葉が付いてきます。「自由」という言葉は本来とても重たい言葉で、「よりよい生活をする」「よりよく生きる」とこと「自由に生活する」ことは必ずしもイコールにはならないということです。実りある2 学期にしていくために、学校生活ではいつもやっているように明確な「めあて」を立て、それを実現させるための具体的な方法を一人一人が考えていきます。その方法に基づき、毎日の生活はどのようにしていったらいいのかがはっきりしてくるはずです。一日の歩みはほんのわずかなはあっても、2 学期83 日間の歩みの積み重ねはとても大きなものになっていくはずです。毎日の振り返りと準備を大切にすることで確実に歩を進めていきたいものです。

その大切さを裏付けるような調査結果が夏休み中に発表されました。全国学力学習状況調査の結果については新聞等の報道についてご存じの方も多いかと思います。岐阜県は今年度も小学校では国語、算数ともに平均正答率が全国平均を下回り、全国順位が過去最低の43 位(国・算とも)となりました。一方、中学校は国・数・英とも全国で上位となり、小学校が低く、中学校が高くなる県の傾向がより顕著になりました。本校においては算数について同様のことが言えますが、国語の特に「図表・グラフ等を用いて自分の考えが伝わるように書き表す」「文章の種類・特徴について理解している」「目的に応じて、文章と図表等を結びつけて必要な情報を見つける」等の問いについては県および全国平均を大きく上回り、全体としても全国・県平均よりも高い成果を得ることができました。このことについては、その一因として一昨年度より本校の主題研究を理科として、学習課題を焦点化して、自分なりの予想を立て、観察・実験によって得られた結果(事実)を端的に表現して、それをもとに課題に対する結論を導くことを一連の学習活動として行ってきたことが文章の読み取りや理解において成果が表れたのではないかと考えられます。理科での取組が国語に表れることについてはピンとこられない方もいるかもしれませんが、言語に対する理解・活用については全教科において、教科の特性を大切にしながら指導していくことが求められていることから考えると合点がいくのではないかと思います。日々の取組では成長がなかなか実感できないものですが、今回の調査結果のように節目節目で振り返りをすると着実に力をつけていることが認識できるという典型ではないかと考えます。2 学期はその節目となるような行事が多く計画されています。日常の生活を大切にしながら、行事で自分の伸びを確認していくこと、行事で確認することができた伸びを自信にして日常がさらに高まっていく生活をつくっていきたいですね。